

日本社会学理論学会ニュース

Ⅶ期3号 2019年7月

発行 日本社会学理論学会事務局

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学社会学部 鈴木宗徳研究室内

Tel 042-783-3547 E-mail sst@sst-j.com URL <http://sst-j.com/>

第14回大会案内

下記の通り、本学会第14回大会を開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご参集下さい。

日時：2019年9月7日(土)・8日(日)

会場：東洋大学白山キャンパス (〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20)

大会会場：1号館5階1504・1505・1507・1509教室 6階1601・1603教室

会員控室・受付：1号館6階1602教室

| 9月7日(土) | | | | |
|-------------|--------------|---------------|-------------------------|----------------------------|
| 11:00～ | 理事会 | 1号館5階 1509教室 | 会員控室 1号館6階 1602教室 | 【事務局・開催校控室】 1号館6階1605教室 |
| 12:15～ | 受付開始 | 1号館6階 1602教室 | | |
| 13:00～15:30 | 一般報告1 | 1号館6階 1603教室 | | |
| | 一般報告2 | 1号館6階 1601教室 | | |
| | テーマセッション1 | 1号館5階 1504教室 | | |
| 15:45～18:15 | 一般報告3 | 1号館6階 1601教室 | | |
| | 一般報告4 | 1号館5階 1505教室 | | |
| | 日韓ジョイントセッション | 1号館6階 1603教室 | | |
| 18:30～20:30 | 懇親会 | 4号館1階 stellar | | |
| 9月8日(日) | | | | |
| 9:00～ | 受付開始 | 1号館6階 1602教室 | 会員控室 1号館6階 1602教室 | 【事務局・開催校控室】 1号館6階1605教室 |
| 9:20～12:40 | 修論フォーラム | 1号館6階 1601教室 | | |
| 10:00～12:30 | 一般報告5 | 1号館6階 1603教室 | | |
| | テーマセッション2 | 1号館5階 1504教室 | | |
| 12:00～13:00 | シンポジウム打ち合わせ | 1号館5階 1510教室 | | |
| 13:15～14:00 | 総会 | 1号館6階 1603教室 | | |
| 14:10～16:55 | シンポジウム | 1号館5階 1507教室 | | |

大会プログラム

—9月7日（土）—

■11:00～ 理事会 【1号館5階 1509教室】

■12:15～ 受付開始 【1号館6階 1602教室】

■13:00～15:30 一般報告1 司会：澤井敦（慶應義塾大学） 【1号館6階 1603教室】

- 1 中河伸俊（関西大学）
「フレーム分析と構築主義——健全な社会学的相対主義を擁護する」
- 2 小田和正（北海道大学大学院）
「新しい知識社会学の展開——R. Kellerによる知識社会学的言説分析を中心に」
- 3 萩原優騎（東京海洋大学）
「情報倫理学において想定される「個人」の社会学的再検討」
- 4 佐藤剛生（東京大学大学院）
「学科の統一性を反映する理論——ニクラス・ルーマンにおける個人主義と集合主義の交錯」
- 5 片桐雅隆（千葉大学名誉教授）
「社会（学）理論の危機？——ポストヒューマンとポストヒューマニティをめぐって」

■13:00～15:30 一般報告2 司会：伊藤智樹（富山大学） 【1号館6階 1601教室】

- 1 MICHALOVA Zuzana（上智大学大学院）
「身体と社会の相互的關係——身体加工を例とした検討」
- 2 津田翔太郎（神戸大学大学院）
「今日的なアイデンティティの困難性を乗り越えるために——「自己の語りえなさ」概念に着目して」
- 3 加藤仁彦（関西学院大学大学院）
「ユニットの変容としての『人の変容』理論——Oliver Sacksの記述の分析を通じて」
- 4 横山寿世理（聖学院大学）
「集合的記憶論は記憶の継承に貢献できるのか」
- 5 寺前典子
「時間意識への東洋的思考によるアプローチ」

■13:00～15:30 テーマセッション1「理論社会学と批評的想像力」

司会：片上平二郎（立教大学） 【1号館5階 1504教室】

- 1 庄子諒（一橋大学大学院）
「ユーモアの社会学的研究と批評的想像力——原発事故後の福島におけるユーモアの分析に向けて」
- 2 鈴木洋仁（東洋大学）
「いま、批評の場所は社会学にあるのか？」
- 3 永田大輔（明星大学等）
「『サブカルチャー私史』とサブカルチャーの社会学的『記述』
——大塚英志の『サブカルチャー私史』三部作に着目して」

—9月7日（土）—

■15:45～18:15 一般報告3 司会：橋本摂子（東京大学） 【1号館6階 1601教室】

- 1 松野充貴（名古屋市立大学大学院）
「権力の技術論の構造——ミシェル・フーコーにおける『戦略』概念を中心に」
- 2 大貫恵佳（駒沢女子大学）
「権力はなぜ分割されるのか——政治のアルケーとしての『例外化』」
- 3 平塚謙一（常磐大学）
「自由と規制——アメリカにおけるリバタリアニズムの分析」
- 4 額賀淑郎（上智大学）
「医学研究の正義基準——被験者選択規則の歴史分析」
- 5 西角純志（専修大学）
「法・正義・暴力——法と法外なもの」

■15:45～18:15 一般報告4 司会：宇都宮京子（東洋大学） 【1号館5階 1505教室】

- 1 小林佑太（北海道大学大学院）
「〈理に適った行い〉とは何か——Weberの意味適合性という考え」
- 2 羅太順（立命館大学）
「マックス・ヴェーバーの比較歴史社会学における因果推定の論理——『儒教と道教』の改訂を手掛かりに」
- 3 魚住知広（東京大学大学院）
「エーリッヒ・フロムと資本主義の「精神」論——精神分析の応用に目して」
- 4 徳地真弥（一橋大学大学院満期退学）
「アクセル・ホネット『承認をめぐる闘争』までのミード社会化理論の受容の意義」

■15:45～18:15 日韓ジョイントセッション Technology and Society

司会：濱西栄司（ノートルダム清心女子大学）・本田量久（東海大学） 【1号館6階 1603教室】

- 1 Kim Hong-Jung (Seoul National University)
Shock of the Anthropocene to Social Theories
- 2 Kim Kiheung (Pohang University of Science and Technology)
Sociotechnological imaginaries of mobile phones in Japanese popular culture
- 3 Taniguchi Masato (Keio University)
Question about material politics: SNS and Social movement
- 4 Mawatari Reo (University of Tokyo)
Possibilities and Limitations of Eco-friendly Technologies : The Case of Teshima Waste Disposal Project

■18:30～20:30 懇親会 【4号館1階 stellar】

—9月8日（日）—

■9:00～ 受付開始

■9:20～12:40 修論フォーラム 司会：清家久美（立命館アジア太平洋大学）

【1号館6階 1601教室】

- 1 徳宮俊貴（神戸大学大学院）
「見田社会学の内在的・総体的理解をめざして——〈過渡期〉における価値論の検討を中心に」
コメンテーター：奥村隆（関西学院大学）
- 2 前田一步（東京大学大学院）
「明治後期・東京の都市公園——管理と抵抗のあい」
コメンテーター：小杉亮子（日本学術振興会／京都大学）
- 3 宮前健太郎（筑波大学大学院）
「延命医療言説の変遷に関する社会学的研究——胃ろうの大衆化とその批判的言説を例に」
コメンテーター：天田城介（中央大学）
- 4 武内今日子（東京大学大学院）
「カテゴリーが担う性別違和経験の理解可能性——『Xジェンダー』をめぐる語りから」
コメンテーター：中河伸俊（関西大学）
- 5 三津田悠（早稲田大学大学院）
「道徳とコミュニケーション——N. ルーマンとT. ルックマンの議論を手がかりに」
コメンテーター：赤堀三郎（東京女子大学）

■10:00～12:30 一般報告5 司会：伊藤美登里（大妻女子大学） 【1号館6階 1603教室】

- 1 安田智博（立命館大学大学院）
「イヴァン・イリイチの煩悶
——『H2Oと水——「素材」を歴史的に読む』における過渡期の想像力について」
- 2 山本千寛（東京大学大学院）
「晩期ルフェーブルにみる『市民』の再発明——『使用者』概念への反省を手がかりに」
- 3 濱西栄司（ノートルダム清心女子大学）
「WebGISやビッグデータを用いた運動行為記述の方法論と関連理論の検討」
- 4 尾藤央延（大阪大学大学院）
「インセンティブ顕著性効果のパターン分析
——目標フレームモデル（GFM）とフレーム選択モデル（MFS）の比較」
- 5 本田量久（東海大学）「観光振興に伴う地域コミュニティの変容」

■10:00～12:30 テーマセッション2「労働者像の社会的（再）記述」 司会：永田大輔（明星大学等）

【1号館5階 1504教室】

- 1 松永伸太郎（長野大学）
「メディア環境と労働調査——労働研究における聞き取り調査の現代的可能性」
- 2 園田薫（東京大学大学院）
「労働エートスの現代的展望」
- 3 上岡磨奈（慶應義塾大学大学院）
「『仕事』とは何か——アイドルの労働事例からの検討」
- 4 西田尚輝（東京大学大学院）
「『失業した労働者』像の歴史社会学——19世紀フランスを例に」

—9月8日（日）—

■12:00～13:00 シンポジウム打ち合わせ 【1号館5階 1510教室】

■13:15～14:00 総会 【1号館6階 1603教室】

■14:10～16:55 シンポジウム「ポスト多文化主義時代における差異と共生
——イスラーム、シティズンシップ、ジェンダー」 【1号館5階 1507教室】

司会：岡崎宏樹（神戸学院大学）

- 1 安達智史（近畿大学）「Humanizing the Sacred
——多文化社会イギリスにおける女性ムスリムとヒジャブ」
- 2 森千香子（一橋大学）「『交差性2.0』時代における『選択』と『ノン・ミクシテ』」
- 3 鈴木赳生（京都大学大学院）「リベラル多文化主義論を学び捨てる
——現代カナダの定住植民地状況を前に」

討論者：樫村愛子（愛知大学）、正村俊之（大妻女子大学）

開催校よりご案内

◇会場◇

東洋大学白山キャンパス 1号館

◇キャンパスマップ◇

「東洋大学白山キャンパス」のキャンパスマップ（①が1号館）。



<http://www.toyo.ac.jp/nyushi/about/campus/hakusan/>

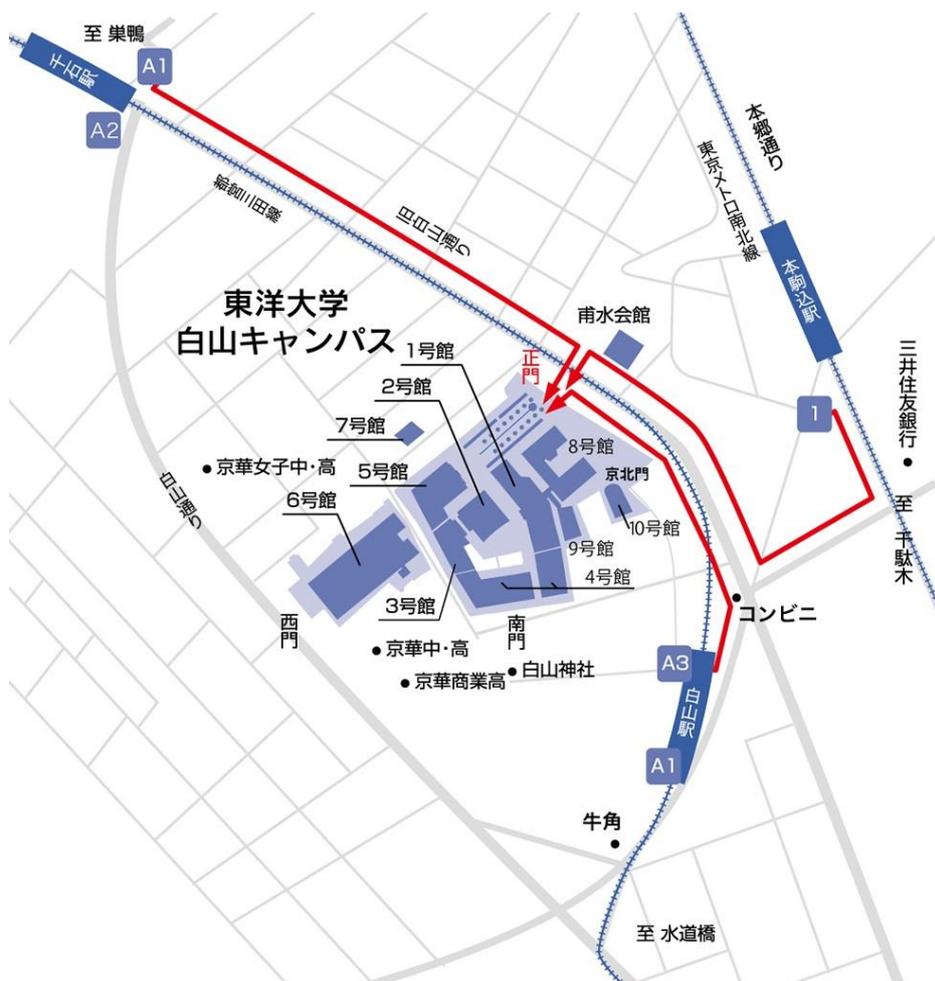
◇「東洋大学 白山キャンパス」へのアクセス◇

- ・都営地下鉄三田線「白山」駅
：A3出口から「正門・南門」徒歩5分
A1出口から「西門」徒歩5分
- ・東京メトロ南北線「本駒込」駅
：1番出口から「正門・南門」徒歩5分
- ・都営地下鉄三田線「千石」駅
：A1出口から「正門・西門」徒歩8分
- ・東京メトロ千代田線「千駄木」駅
：1番出口から「正門・南門」徒歩15分
- ・JR山手線「巣鴨」駅：南口から「正門・西門」徒歩20分 都営バス10分（「浅草寿町」行「東洋大学前」下車）

*なお、6号館が工事中のため通路が狭くなる見込みです。会場へお越しの際は西門ではなく、正門をご利用ください。

アクセスについて、詳しくは下記をご参照ください。

<http://www.toyo.ac.jp/nyushi/about/campus/hakusan/access.html>



◇開催校からの昼食についてのお知らせ◇

大学内の学食は定休日です。大学近くのコンビニエンスストアまたは飲食店などをご利用ください。

◇コピーサービスについて◇

配布資料のコピーは事前にご用意ください。大学正門前のコンビニエンスストアなどをご利用ください。

◇大会参加費◇

一般：3,000円 学生：2,000円
*釣銭のいらないようご注意ください。

◇懇親会◇

会場：stellar（4号館1階）
会費：一般：4,000円 学生：3,000円
*大会受付にて申し受けます。